



第四章  
資料



# アンケート用紙

平成29年3月10日

## 第27回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■3月10日が東京都平和の日であることについて

- a. 知っていた      b. 知らなかった

■記念行事への参加回数について

- a. 初めて      b. 2～10回      c. 11～20回      d. 21回以上

■本日の記念行事について

1 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_ )

2 第二部「記念公演」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった      b. 良かった      c. 普通      d. 悪い

(ご意見: \_\_\_\_\_ )

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

a. 「記念式典」のみでよい(その理由: \_\_\_\_\_ )

b. 「記念式典」と「記念公演」を行う(その理由: \_\_\_\_\_ )

c. その他( \_\_\_\_\_ )

4 この行事を何でお知りになりましたか。

- a. 広報東京都      b. 東京都のホームページ      c. 知人から聞いて

d. その他( \_\_\_\_\_ )

■その他ご意見ご感想をお聞かせください。

[ \_\_\_\_\_ ]

お歳: \_\_\_\_\_ 代

お住まい: \_\_\_\_\_ 区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。

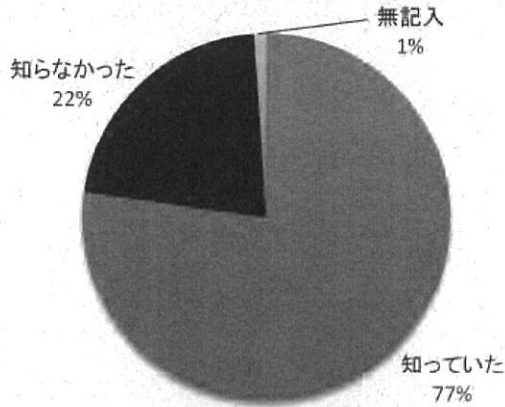
東京都

# アンケート集計結果

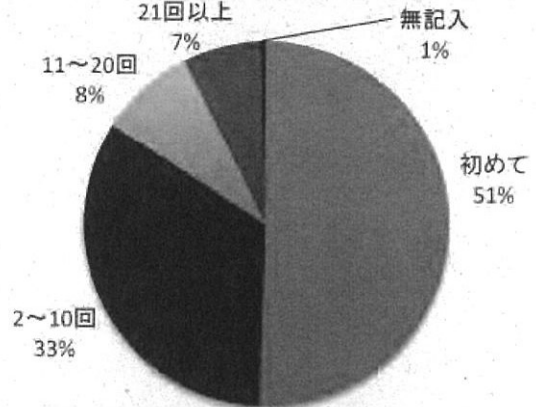


回答数：188

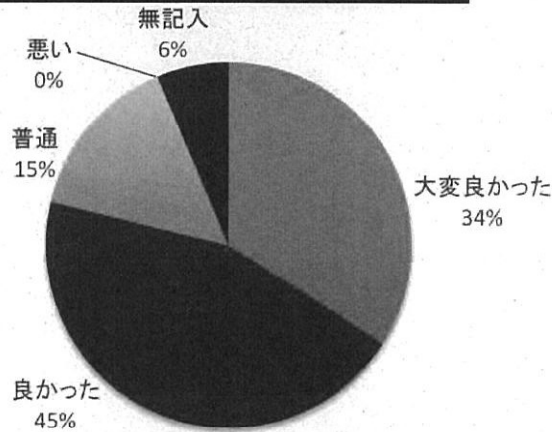
3月10日が平和の日であることについて



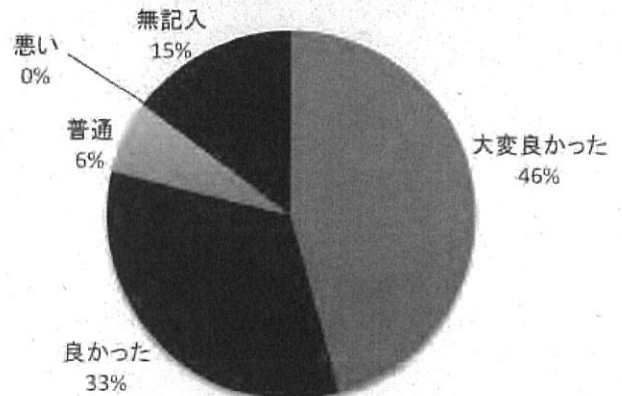
記念行事への参加回数について



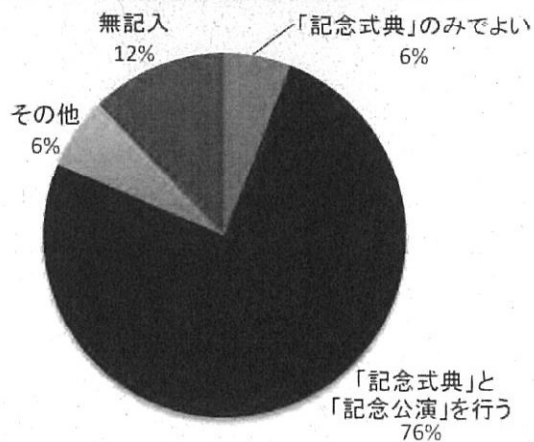
第一部「記念式典」について



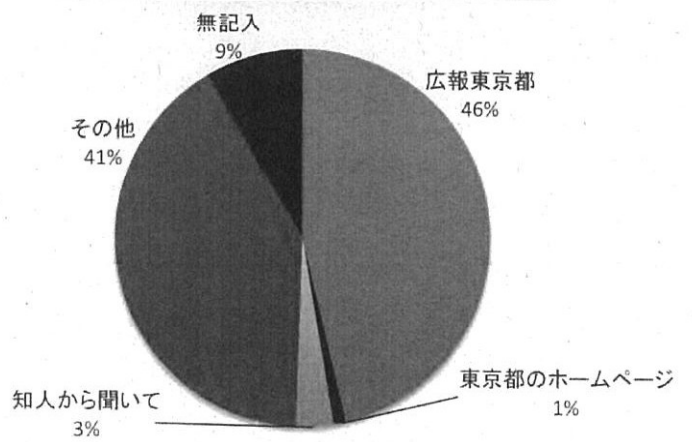
第二部「記念公演」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか



その他の回答

- ・遺族等招待状(51件)
- ・家族・友人より(14件)
- ・新聞より(2件)

- ・テレビより(3件)
- ・記載なし(7件)

# アンケート集計結果（自由意見）

## 自由意見

### 1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

- ・ 都知事の挨拶が良かった。(複数回答有)
- ・ 東京都に希望と平和をもたらして下さり始めている小池百合子さんにお目にかかりたく長野県からやって参りました。
- ・ 小池都知事のあたたかいお気持ちに感謝。父に会えました様な気持ちになりました。
- ・ いつも物足りないと感じている。知事の話が読んでいるだけでももう少し自分の言葉で話してほしい。
- ・ ジブチ代表、続いて体験者の話は、痛切なる思いを感じた。
- ・ アホメド・アライト・アリ閣下のスピーチが良かった。
- ・ 大使の平和を願うお話素晴らしかった。又佐久間様の体験のお話胸にひびいた。これからも体験伺いたいものと思う。ちょっと悲しい気持ちになるけれど・・・娘をはじめ誘って一緒にきいてもらい良かったです。引きつぎます。
- ・ 被災者代表の佐久間さんの体験談が心にしみて良かったです。(複数回答有)
- ・ 貴重なふだん聞けない戦争体験談がよかった。
- ・ 体験された方の生の声が聞けて戦争はしてはいけないことを改めて誓った。
- ・ 2.3体験談を聞かせて頂きたい。
- ・ 戦禍をくぐられた体験された方の貴重なお話を聞かせて頂きたい。
- ・ 空しゅう体験者の生の声をもっと聞けたら、同年代ではありますが、地方に居た者には何よりの知識として、出席しなかった者にも話し聞かせたい。
- ・ 戦争体験者の方の話は男の方、女の方と二人がいいと思います。
- ・ 初めてなので出席してよかったです。
- ・ 引きしまった式典で大変よかったです。
- ・ 短く心のこもった式典で良かったです。
- ・ 心がこもっていた。(区市町村代表のあいさつのお声もよかったです。)
- ・ 式典の意義大切にしていきたい。
- ・ 簡素にしておごそかな雰囲気が好感。
- ・ 都庁5F 会議場などに入る事が出来ませんのでうれしかったです。
- ・ 72年経っても親想い御仏前に手を合わせます。幸せな時苦しいとき様々ですが平和な日々です。ありがとうございます。
- ・ みんなで力を合わせて平和を築こう。
- ・ very important not to forget victime of ww2.

### 2. 第二部「記念公演」についてご感想をお聞かせください

- ・ 久しぶりに生演奏が聞けて、感動しました。(複数回答有)
- ・ やさしい音色に心がなごみ、よかったです。(複数回答有)
- ・ 曲目もよかったです。
- ・ アンサンブル良かったです、ありがとう。
- ・ 式典の後では曲目が多いかないと思いました。(複数回答有)
- ・ 歌声がスバラシー!!生で聞くのはいいですね!
- ・ 多様な曲目があって面白かった。ソプラノや中学生の共演も良かった。
- ・ 都響の演奏、中学生の演奏、今野沙知恵さんのソプラノ素晴らしかった!(複数回答有)
- ・ 中学生のお二人がしっかりと平和を語っていた事がすばらしかった。
- ・ 青少年とのジョイント大賛成、紹介や発言もあってよかったです。
- ・ 二部、毎年同じでなく変化がほしいが、弦楽のための三章-トリプティークは大変良かったです。

## アンケート集計結果（自由意見）



- ・一緒に歌えて良かった。(複数回答有)
- ・みんなで歌うコーナーは不要。(複数回答有)
- ・音楽は世界共通なくさめられ、和ごみました。皆様のお心に感謝一杯です。
- ・終戦前の想いにたどりつく心あたたまるコンサート感謝です。
- ・楽団員みなさんの真けんさにうたれました。
- ・演奏素晴らしく、構成も大変良かったです。コンマスさんがキレッキレで最高です!
- ・コンサートが楽しみで毎年来ております。
- ・以前より時間が短くなってしまった感じがある。高齢者も多いので仕方がないかとも思うが。
- ・東京都歌をきいてみたい!小3年生1学期まで歌った都歌途中まで覚えています。
- ・映画とかお願いします。

### 3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください

#### a 「記念式典」のみでよい

- ・慰霊の為のみで良いのでは。
- ・1部だけで充分です。
- ・年寄には長時間つらかった。

#### b 「記念式典」と「記念公演」を行う

- ・式典だけでは味気ない。もの足りない。(複数回答有)
- ・せっかく会場に参列したので式典のみでは勿体ない。
- ・遠くから足を運んでくる人のためにも。
- ・遺族の方もいらっしゃるのであれば公演も行った方が良いと思う。
- ・集まって頂いた都民の方への文化的サービスは必要。
- ・丁度よい具合。
- ・両方とも良いので行って欲しいです。
- ・平和の日の式にふさわしいと思う。
- ・音楽による慰霊がふさわしい。
- ・供養する事を大前提だと思うので。
- ・辛い体験話や未来への誓いで心を引き締めた後、演奏を聞くことで平和な時代を感じる事が出来る。
- ・公演を聞いて平和である事のありがたさが確認できる。
- ・しみじみと平和が感じられる。
- ・音楽を楽しめることは平和の証しと感じられるから。
- ・音楽は私共人々の心をいやしてくれるから。(複数回答有)
- ・リラックスできる。
- ・心の安らぐ時間になるから。
- ・記念式典は反省となくさめ、記念公演は世界一つである。
- ・記念式典を記憶に残り易くするため「記念公演」はもっと短くして良いかと思います。最低限パッハの「アリア」が良いと思います。
- ・今回が良かったから。
- ・若い人に聞いて頂きたいので。
- ・楽しさが加わるから。



## アンケート集計結果（自由意見）

- ・重い感じを次の世代へ継ぐものとなるため。
- ・静と動のバランスがよい。
- ・音楽が好きなので毎年楽しみにしています。
- ・音楽を聞くのが良かった。

### c その他

- ・従来通りでよい。
- ・初めてです。又、参加したいと思っています。
- ・多数回出席した人は、式典だけで良いと言う人もいます。
- ・いろいろな面から平和考えるために。当時の写真展生々しく初めて見ました。よい経験です。
- ・東京大空襲についての内容を伝えることがあまりに少なかったのは残念。

## ■その他意見、感想

### 【具体的なご意見】

- ・大変すばらしかった。(複数回答あり)
- ・初めて参加しましたが、なかなか感慨深いものでした。
- ・本日は出席者多くよい会でした。
- ・もっと多くの方に参加してほしいと思った。もう二度と戦争をおこしてはいけないと思うので!
- ・ありがとうございました。来年も揃って伺えますようにありがとうございました。
- ・式典を計画して下さいました皆様に有難うございました!
- ・来年も当行事を継続希望する。(複数回答あり)
- ・記念公演は客席を少し暗くしてはいかがでしょう。
- ・東京都交響楽団弦楽アンサンブルはレベルが高く、その演奏が聴けるのがこの記念式典へ来る1つの楽しみです。
- ・戦争を、孫子の時代には、戦うおろかさから、人類は、世界はひとつ、力を合せ、地球を守って参りましょう。
- ・条例に定める日としていつまでも続けて下さい。永遠の平和を祈念します。
- ・暗い気持が心いやされました。
- ・心に残る式典をありがとうございました。
- ・すばらしい記念行事でした。東京に住んで55年初めてでとてもよかったです。主人は59年上野生れ。学童そかいで会津に行って苦勞したようです。それがかてになって今日元気で暮してます。ありがとうございました。
- ・昭和20年父は軍服工場につとめておりました。朝出勤途中で空襲にあい死亡致しました。お骨はありません。母の泣き顔ばかりみて幼少期をすごしました。二度と戦争をしてはいけないと思います。戦争を知らない若者達が自営隊に入隊し、戦地へかり出される事があってはならないと案じております。今年は横網町からバスを出して頂き本当に助かりました。
- ・戦争(空襲)を体験された方のお話を聞く機会が少なくなってきたので今回、お話がきけてとてもありがたかったです。戦争のない平和な暮しがしたい。世界中の子供たちが、安心してらせる世の中にしたい。平和の日記念行事は大切なことです。続けていって、後世まで語りつづけていってほしいです。父がきたらうれしかったと思う。ありがとうございました。
- ・①「黙とう」を捧げていたら戦争中のことを思い出してしまいました。東京初空襲(17.4.18)をはっきり思い浮かべその後の戦争の悲惨さ、おろかさを忘れられません。②やっと念願の東京都平和の日記念式典に参加できました。昭和17年4月18日(土)快晴- やっと小学校(当時は国民学校・下谷区立櫻丘国民学校)3年になったばかりの土曜-私は上野駅前を通り、帰宅するところでした。爆音が聞こえ、ふと空を見上げると、地下鉄ストア(現メトロ本



## アンケート集計結果（自由意見）



- 社)の上空に茶髪の操縦士(日本人でない)の顔がはっきり見え、ビックリした光景を今も目に浮かんできます。一その飛行機は上野駅の上空から西の方へ去っていきましたが、荒川区の尾久に爆弾を投下していったそうです。そんな情報はいっさい知らされず、とうとう昭和20年3月10日の東京大空襲で私の家も焼かれてしまいましたが、私は、学童集団疎開中でしたが二度と戦争をおこしてはいけません。③現在も、台東区観光ボランティアガイドとして浅草を訪れる子どもたちに浅草寺境内の焼けたイチョウの木の当時の写真を見せながら奇跡的に焼け残った72年前の浅草神社と二天門。戦争の被害を伝えています。まとまりませんが思いつくまま。
- ・ 私事ですが、昨年、色々な意味で集大成として舞鶴、佐世保、江田島(広島)と基地を見学しました。どこでも感じるのは、子供、孫世代、若者に(浸透していないのでは?)行く方法を痛感し、世界の動向を想う時、考えさせられた。もっと広くこの行事など含めてもっと機会を催して、一般人に伝えられますことをまとまりませんが、ぜひ希望します。
  - ・ もっと早くに知っていれば、父母をつれてこの行事に参加する事が出来たのに…。12才だった父が84才になります。もう少し早く連れて来たかったです。
  - ・ 主人の曾祖父一家が浅草で被災し、祖父祖母叔母を除く4人が言問橋付近で亡くなりました。浅草では今の時期に東京空襲展をしています。平和な世の中にいる私達が、改めて思い起こすことが必要だと思えます。時代が違っただけで、生死が左右されるなど、あつてはならないです。平和を恒久に続けていけるよう、亡くなった多くの方の冥福を祈り、誓います。
  - ・ 小学三年の時3月10日の下町の空襲を今でもはっきり覚えております。
  - ・ S20年3月10日の東京大空襲で私15才の時両親、弟、妹4人焼死、家や土地も失いました。(今の平和は夢のようでした。)
  - ・ 昨年、両国の慰霊堂にお参りに行った折、東京大空襲での犠牲者の名簿を募集していることを知り、手続をして、今月3日に納め式に行つて来ました。とても有難いことで感謝しています。体の続く限り3月10日お参りに行きたいと思っています。
  - ・ 戦争を知らない現在の若者達に伝えなければならない方法を体験者が伝えなければならないのに高齢化できびしい状況下にあるのではと案じています。
  - ・ 記憶することが出来なくなる世代へと移ります。参加した方々の時々コメントを集めるなどしておくこともよいかと思えます。
  - ・ Looking forward to spread Japan experience in proceeding forwards after the massivedistracton of ww2 to my people in syria. Wish you the best.
  - ・ 3月10日が東京大空襲のあった日と知らない人が増えている。都は広報に努めるべきと感じる。都民の日と併せてしらしめてほしい。
  - ・ 若い世代(高校・中学生・小学生など)招いたりするのもよいのでは。一般都民を多く入場できるようにしてほしい。
  - ・ 一般の人の出席者をもっと希望者が多いのでは。以前より少なくなったのかな。
  - ・ 東京都平和の日記念式典に初めて出席しましたが、都各局長及び都議会議員が出席に違和感がありました。戦争で犠牲になられた多くのご遺族の方々が一人でも多くの方が出席できるようにしたらもっと良い式典になると思います。
  - ・ 式典終了と共に来賓、各国関係者の皆様ほとんど退出された。一部もどられたが記念公演を演奏された東京都交響楽団には大変失礼に感じた。演奏も心に響くよいものであった。合唱コーナーの歌もよかった。3/10を都が「平和の日」として選んだ理由がよく理解できなかった。
  - ・ 会場に参加している遺族の顔ぶれを見ると年々高齢化著しく、このままでいけば平和の日記念式典に遺族の参加がなくなる日も来ると思う。本人のみの参加で相続不可とのことであったが、相続人も遺族にちがいないのだから、相続人の参加も認めてほしいと切に願う。
  - ・ この素晴らしい式典、記念公演を末長く続けて戴きたい。高齢者が多いので水分補給を考えて欲しい。



## アンケート集計結果（自由意見）

---

- ・会場でのどがかわきましたが水飲み場がなくて閉口しました。（戦後72年でお年寄りが多いのです。）
  - ・都庁だけでなく、各区でも”平和の日”を知らしめても良いのでは（行われているのでしょうか）。もっと広く知って平和のありがたさを感じるように。会場の一段高くなっている所が上に上がる方おおかたの方がつまずかれます。改善される必要ありと思われませんが、上段の一番前の角に座っていたので特に思いました。
  - ・会場後方の階段の最初のステップが高くて足がひっかかる方がたくさんいらっしたので気になった。来年からもっと低くして欲しい。御高齢の方々のためにも。
  - ・高齢、足腰の不自由の方々には階段席への案内はとても負担と考えます。その点の改善を希望します。階段の段差にも改善の検討を。
  - ・戦争体験者はとても少なくなっているので1人だけでなくもっとお話しする方を増やしてほしいです。終了をもうすこし早くしてほしい！みんな高齢なので帰りやすいように！電車が混んでしまう！広い会場で学生たちも呼んでは！もったいないです！
  - ・各国の大使の紹介もあるとよい。
- 
- ・横網町公園からのバス移動は良かった。（複数回答有）
  - ・バスは来年もお願いします。（複数回答有）
  - ・今回は公演から都庁までバスを出して戴き大変に良かったです。片道だけでも…。
  - ・記念堂よりバスで都庁まで送って下さって会場の席までついてるのは足のいたい私には非常によいと思います。
  - ・今回、両国からバスを運行して下さいとても助かりました。脚が悪くなく高齢の母はおかげで今日は両方とも参加できました。ありがとうございました。平和のありがたさ、大切さをあらためて感じています。
  - ・今回バスで都庁までつれて来て頂き席まで用意して頂きスムーズに席に着く事が出来て良かったと思えました。それぞれの係の方々ありがとうございました。
  - ・バスの案内があつてとても良かったです。普段は見られない都内見学も出来ました。昼食の時間がどの位取れるのか解らなかったので、その辺が少し迷いました。初めての事で仕方がないと思いましたが。
  - ・送迎バスを出して頂いたのは大変助かりました。ただし受付業務がよくわからなかったのでアナウンスなどの連絡方法がほしかった。
  - ・席の指定のご配慮ありがとうございました。大変良かったと思います。バスもありがとうございました。次回楽しみに！！
  - ・毎回出席させて頂いてます。元気で歩けるうちは続けます。亡き人を想って涙。平和の喜びを感じてえます。感謝のみです。生き残った家族として！今年バスで出発感謝のみでございませう。すてきな音楽も心にしみ渡りました。歌もすばらしかったです。



## 記念行事概要



### 第27回東京都平和の日記念行事

### 第27回東京都平和の日記念式典

日時 平成29年3月10日(金)午後2時～午後3時30分  
場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場

#### 記念式典

黙とう  
国歌斉唱  
主催者挨拶(東京都知事・東京都議会議長)  
来賓挨拶(在日外交団代表・東京空襲被災者代表)

#### 記念公演

「追悼と平和への祈り」～東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル～

～戦争犠牲者のための追悼として～

◆ J. S. バッハ : 管弦楽組曲第3番 BWV.1068より「アリア」

◆ ヘンデル : オンブラ・マイ・フ

◆ J. シュトラウスII: オペレッタ『こうもり』より  
アデーレのアリア「侯爵様、あなたのようなお方は」

～青少年とのジョイント～

◆ モーツァルト : アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 第1楽章

◆ 桜井和寿 : NHK 連続テレビ小説「べっぴんさん」  
主題歌『ヒカリノアトリエ』

◆ 芥川也寸志 : 弦楽のための三章-トリプティック

～みんなで歌うコーナー～

◆ 高野辰之 作詞、岡野貞一 作曲:『ふるさと』

◆ 江間章子 作詞、團伊玖磨 作曲:『花の街』

### 東京空襲資料展

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| ① 東京都庁第一本庁舎5階<br>レセプションホール | 平成29年3月10日(金)<br>13:00～16:00  |
| ② 東京芸術劇場アトリエウエスト           | 平成29年3月7日(火)～12日(日)<br>9:00～17:00                                       |
| ③ 福生市民会館・公民館展示スペース         | 平成29年2月25日(土)～3月15日(水)<br>9:00～22:00<br>※2/27、3/6、13の月曜日は休館             |
| ④ 東大和市役所1階入口ホール            | 平成29年2月28日(火)～3月16日(木)<br>8:30～17:00<br>※3/4、11の土曜日は正午まで、3/5、12の日曜日は閉庁日 |



## Memorial Ceremony Program

---

■ **Date and time** Friday, March 10, 2017 2:00PM

■ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1  
5th Floor, Main Conference Hall

■ **Program** 1:00PM Open  
2:00PM Memorial Ceremony  
2:30PM Intermission  
2:45 PM Memorial Concert

※ Live broadcast on the Internet  
(Tokyo Metropolitan Government's YouTube Channel)

### Memorial Ceremony

---

#### Silent Prayer

#### National Anthem of Japan

#### Greetings from the Organizers

Governor of Tokyo

**Yuriko Koike**

President of the Tokyo Metropolitan Assembly **Shigeo Kawai**

#### Messages from the Distinguished Guests

Dean of the Diplomatic Corps

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Djibouti

**H.E. Mr. Ahmed ARAÏTA ALI**

Representative of the Tokyo Air Raid Victims **Kunisaburo Sakuma**

## 東京都平和の日条例

平成二年七月二十日  
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

(平和の日)

第一条 東京都平和の日は、三月十日とする。

(記念行事)

第二条 東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

(委任)

第三条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

この条例は、公布の日から施行する。

## Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of the world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)

Article 1 The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)

Article 2 In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)

Article 3 Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision

This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990

Tokyo Metropolitan Ordinance No.90

## 東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえない尊い命が失われた。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちは、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあったからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力がますます必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せで安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあつて、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の穏やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとつて緊急な課題であり続けています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められている時はありません。

平和は、何ものにもまさつてすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あることに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐よく取り組みことを決意します。

一 私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京空襲の体験などとともに語り伝えます。

一 私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもつて、誇るに足る地域社会をつくります。

一 私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。

一 私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。

一 私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやって来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日 東京都

### An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10<sup>th</sup> 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment—these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

- We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

- We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

- We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

- We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

- We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5<sup>th</sup> Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10<sup>th</sup>, 1995